

市民との協働をすすめ人材育成や地域づくりをすすめよう

大東議員が一般質問で地域づくりについて市の取り組みを求める

大東議員は一般質問で、地域の高齢化やコミュニティの希薄化などで地域の行事等の開催も困難になるなかで、地域の人材育成を市と地域が協働してすすめ、地域づくりの取り組みをすすめるよう求めました。

市長は「少子高齢化や価値観の多様化などにより、区長さんや地区の役員さんなどが様々な問題を抱え、苦勞されている」と、地域が抱える問題についての認識を示し、「意見を聞きながら問題解決にむけ、市としてできる限りの支援をしたい」と答えました。

地域の担い手づくりについて市長は「地域の人々が様々な行事への参加を促し、地域のニーズを把握していきたい」と答え、市民と市の共同については「ハード面の支援だけでなく、人的支援といったソフト面の支援を検討したい」と市長は答えました。

原発はいらない！福島を返せ！高崎で集会

福島第一原子力発電所事故から6年が過ぎた6日、「力合わせる200



万群馬さよなら原発アクション」が高崎市城址公園でおこなわれました。

集会では、原発事故で被ばくした牛を保護する吉沢正巳さんなどが、原発をなくせ！生業とふるさとを返せと訴えました。

集会後は市内をデモ行進し、「原発はいらない」「福島を返せ」と訴えました。

グリーンベル21の新しい名称はテラス沼田

2月15日から3月9日まで「愛称決定総選挙」として、5つの名称からグリーンベル21の新しい名称を選ぶ市民投票で2,012票を獲得した「TERACE（テラス）」に決まりました。

投票総数は6,415票で2位はぱるく、3位はミッテ、4位はKAGAN（かがん）、5位はWaltz（ワルツ）でした。



日ごろの練習成果を発表 白沢町芸能祭

白沢町芸能祭が12日、白沢支所で開かれ日ごろの練習の成果が発表されました。



2017年3月19日

NO. 516

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料



教育勅語は、戦争への反省から1948年に廃止され効力も失いましたが、稲田防衛大臣は、教育勅語が戦争への道につながったかの認識を問われ、「そういう一面的な考えはしていない」と答え、戦前と同じように国民を戦争に駆り立てようというあまりにも危険な考えの持ち主であることを示しました。

教育勅語は、戦前の教育の基本原則を示すものとして1890年に明治天皇の言葉として出され、その本質は「一旦緩急あれば義勇公に奉じて攘無窮の皇運扶翼すべし」、つまり「重大事態があれば天皇のために命を投げ出せ」ということにあり、前段の親孝行や兄弟仲良くななどの徳目がすべて、天皇への命がけの中世に結び付けられています。

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。国有地の「格安」売却疑惑の渦中にある「森友学園」の幼稚園で、園児たちに教育勅語を暗唱させていることが問題となっているなか、稲田防衛大臣が国会で「教育勅語の精神を取りもどすべき」などと称賛する答弁しました。

続ぶらい散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その七

綾戸トンネル

弘化3年（1846）に江舟和尚が貫通させた隧道は、高さ、幅が2尺（0.6畧）で、文久3年（1863）には、隧道の拡幅が上白井村（渋川市）の後藤文右衛門よりはじめられ、元治元年（1864）に完成しました。

写真右上の写真の年代は不明ですが、明治15年（1882）



から明治34年（1901）の間に撮られた写真で、隧道の入り口を見ることができます。（丸の部分）

下の写真は現在の綾戸トンネルで、コンクリートで固められた所が、明治時代の隧道の入り口です。

明治44年（1991）には、渋川と沼田を結ぶ利根軌道が開通し大正6年には、馬車から電気機関車がけん引する電気鉄道となりました。（写真左は綾戸トンネル）

